

平成27年度の主な訓練結果

平成27年度の主な訓練結果

南海トラフ巨大地震を想定した訓練

◇四国地方整備局の事例(平成27年度総合防災訓練)

＜日時＞ 平成27年9月1日(火)

＜参加者＞ 四国地方整備局、災害協定関係者など、15団体、約1,300人

＜訓練概要＞

①安否確認・災害対策本部及び支部設置・被災状況把握訓練

②災害対応図上訓練



ヘリによる被災状況調査



事務所とのTV会議



災害対応図上訓練

他

＜検証結果及び課題・今後の対応＞

○訓練において災害発生時の応急対策を確認した。引き続き、防災関係機関相互の協力の円滑化を図るとともに、防災計画等の脆弱点や課題の発見に重点を置き、防災計画等の継続的な改善を図る。

◇近畿地方整備局の事例(近畿地方整備局・堺市合同総合防災訓練)

＜日時＞ 平成27年11月5日(木)

＜参加者＞ 国・地方公共団体・防災関係機関等 計58団体、約6,500人

＜訓練概要＞

①道路啓開、航路啓開による緊急支援物資輸送準備訓練

②地元企業協力による、耐震強化岸壁から物資の搬入訓練

③津波率先避難等協力事業所の先導による看護学校生の避難訓練

④人命救助・消火、ライフライン復旧訓練



近畿地整職員による道路啓開訓練



地元企業協力による、耐震強化岸壁から緑地の荷さばき場へ物資の搬入



津波率先避難等協力事業所の先導による看護学校生の避難訓練

他

＜検証結果及び課題・今後の対応＞

○救援物資輸送訓練において地元企業など多数の関係者との連携を確認した。今後は輸送の効率化の観点から、緊急物資輸送について、船舶を有効活用する方策を検討し、訓練を実施する。

首都直下地震を想定した訓練

◇国土交通本省の事例(平成27年度国土交通省地震防災訓練)

＜日時＞ 平成27年9月1日(火)

＜参加者＞ 大臣、副大臣、大臣政務官、事務次官以下の幹部職員 等

＜訓練概要＞

地震発生から1日後を想定した緊对本部会議において、関東地整、運輸局による被害状況等の報告、**DIMAPS**を用いた被害状況の報告等を実施

※**DIMAPS**: 統合災害情報システム



本部会議における被害状況報告の様子



DIMAPSで被害状況を確認する太田大臣

＜検証結果及び課題・今後の対応＞

○各局からの最新被害情報等を**DIMAPS**等により視覚的に共有することで情報共有のスピードと正確性をさらに向上し、的確な災害対応戦略の立案に役立てる。

◇関東地方整備局の事例(平成27年度首都直下地震防災訓練)

＜日時＞ 平成27年11月5日(木)

＜参加者＞ 国・地方公共団体・公共機関等、計24機関14団体 約610人

＜訓練概要＞

①大規模浸水地域排水訓練

②道路啓開訓練

③航路啓開訓練

④緊急物資輸送訓練

他



大規模浸水地域排水訓練



道路啓開訓練



航路啓開訓練



緊急物資輸送訓練

＜検証結果及び課題・今後の対応＞

○道路啓開や大規模浸水地域の排水については、実動訓練を通じてオペレーションの機能性、有効性の確認を行った。今後、緊急物資輸送については、円滑に緊急用河川敷道路を利用するためのオペレーションについて訓練を通じ検証していく。